

コンプライアンス／リスクマネジメントの推進

コンプライアンスの取り組み

シチズングループでは、CSR活動の優先課題としてグループ企業行動憲章を基盤としたコンプライアンスに取り組んでいます。グループ各社は、コンプライアンス教育やeラーニングなどを定期的を実施し、法令遵守を根幹とした道徳や倫理観に基づいた行動を促しています。また、法令違反や不正行為の未然防止、自浄作用の向上のため、社内外に「企業倫理相談窓口」を設けており、通報者の秘密の厳守や通報者に不利益な処遇がなされないことなどを定めるとともに、匿名で通報できるよう通報環境を整えています。

リスクマネジメントの取り組み

シチズングループでは、企業理念の実現および経営計画達成の阻害要因となるリスクを適切に管理し、社会的責任の履行と企業価値向上に資することを目的に、リスクマネジメントに取り組んでいます。2012年度は、2011年度に引き続き災害BCP(事業継続計画)の推進と営業秘密管理の展開・定着(p16参照)にグループ全体で取り組みました。また、各社の地域性や事業形態を考慮したリスクマネジメントを推進しており、海外拠点では、海外における安全確保や緊急事態時の対応などに取り組んでいます。

取り組み事例

通報窓口の機能向上に向けた取り組み

グループ従業員(派遣社員含む)に毎年実施しているCSR意識調査では、「企業倫理相談窓口を利用しますか?」の設問で、「利用しない/利用するかわからない」という回答が半数以上を占め、またその理由として「秘密厳守が保たれるか不安がある」という回答が多くありました。この結果を踏まえ、今後も継続して相談窓口の周知、信頼性を高めるための努力を行っていきます。

CSR意識調査結果(抜粋)

Q.1 あなたは企業倫理相談窓口を知っていますか?



Q.2 法令違反を見つけた場合、企業倫理相談窓口を利用しますか?



回答率 2012年:81.1%(7,540/9,297名)
2011年:75.3%(6,849/9,097名)

安全保障貿易管理

シチズンマシナリーミヤノでは、全製品に移設検知機能を標準装備し、工作機械の不正使用を未然に防止することで輸出管理の強化を図っています。今後も「外国為替及び外国貿易法」を遵守し、工作機械の不正輸出や海外における不正転売・再輸出などの防止に取り組めます。

取り組み事例

災害BCP(事業継続計画)

シチズングループでは、東日本大震災の経験をもとに災害BCPのより効果的な体制整備を推進しています。2012年度は、昨年度にグループ全体で実施したBCP診断の評価結果をグループ経営会議で共有し、グループ各社へ課題への対応を求めました。さらに、グループCSR推進委員会にて定期的に確認することで確実な推進につなげています。グループ各社は全国各地に点在することから、事業形態、規模を考慮し、かつ自然災害の種類や被害の程度を具体的に想定し推進することが重要と考えます。また、参考になる活動についてはグループ内で共有しその機能を高めています。

模倣品対策の強化

シチズンホールディングスでは、ブランド価値の強化の一環として模倣品対策に力を注いでいます。シチズン製品の模倣品を放置することは、シチズンブランドや社会的信用を損なうだけでなく、品質の伴わない製品をお客様が購入してしまう恐れがあります。そのため、各国の公的機関と連携し模倣品製造業者、流通業者、販売業者に対する法的根拠に基づく警告や摘発、また大手オンラインショップでの模倣品販売の調査と差し止め、さらに各国・地域の税関での輸出入差止めなど、模倣品の排除に努めています。